



令和元年度 学校だより 学校ホームページ <http://minamisyo.nagaizumi.ed.jp/>

長泉町立南小学校

No. 57

令和2年1月17日

みなみっ子

学校教育目標 「夢のある子」 ～めあてをもってがんばる子～

今年度最後の身体測定。意外にお正月太いなし。

養護教諭の井原先生が各教室を回って身体測定に取り組んでいます。この季節、保健室に大人数で入ることは避けたいので、測定機器を教室に持ち込んで、身長と体重を計っています。

3年生の学級をのぞいてみると、測定前に保険のミニ授業を行っていました。今回は、「学校での怪我」がテーマで、一番怪我の少ない学年や一番怪我が多く起こるところなど、子どもたちが予想しながら授業が進んでいきました。意外に教室での怪我が多い事実を知り、子どもたちは驚いていたようです。

測定の結果、体重が増え過ぎていた子は、ほとんどいなかったようです。教員は、「お正月太り」を心配していたようですが、子どもたちは順調に身長も伸び、ちょうどいいくらいの体重増加であったと喜んでいました。冬休み明けから各学級で熱く取り組んでいる長縄8の字跳びなども影響しているのかもしれません。

昨年12月、本校では大流行にならなかったインフルエンザですが、1月に入っても罹患児童は1桁で推移しています。学級閉鎖もまだ出ていません。みなみっ子たちが、元気いっぱい、この冬を乗り切れますように！（インフルエンザにかかった場合、登校するまでの経過報告など、新たな取組が始まりました。これまで罹患した児童のご家庭では、しっかりと毎日午前午後の検温などをしっかりとやって下さっています。ありがとうございます。）

南小教員。機会があるごとに子どもに生きる研修を継続しています。



この色の付け方はですね。

本校では、「一人一人がわかる授業」をテーマに、年に数回、全教員で一つの授業を参観し、討論したり伝え合ったりする活動を通して、学習問題(その授業の中で最も大切な問い)の作り方、児童への問いかけの仕方、児童の発表したことをどう取り上げるか、児童の話し合いの持ち方、効果的な振り返りの仕方などを研修しています。

先日、児童帰宅後に、第2理科室に本校教員が集まりました。図工主任の深沢先生が、清水町・長泉町内の優れた図工作品(56年生)を並べました。駿東地区全体の選考会へもっていくため、本校に2日間保管しておくとのこと。深沢先生が

他校の児童作品を見て、技法や色の使い方などを学びましょうと呼びかけました。理科室に、若手、中堅、ベテランが入り乱れて、その作品のよさ、児童の思い、細かな技法・技術・具材について語り合いました。あちらこちらで教員仲間の輪ができます。深沢先生が若い先生に「丁寧さや技術の差はもちろんあるんだよ。ただ、人の目にパツと入ってくる作品は、その作品から、作者の子どもの『ここを見て！』『これが好き！』という思いが強烈に伝わってくるものなんだよね！」「そんな思いにさせる言葉かけをしていかないとね。」力説していました。聞く若手の教員も真剣そのものです。これからも、チームワーク抜群、かつ、切磋琢磨する教員集団で、子どもたちを支援していきます。

令和2年度は、購買で扱う名札を統一します。

本校の名札(くるりん名札)についてのお願いです。来年度から購買で販売する名札は、「くるりん名札(大)」に統一します。①名前の見やすさ、②統一することにより購買活動のシンプル化(購買委員が活動しています)、③1年生で使ったものをそのまま使い続けられることなどを考慮してのことです。先日、PTA役員会でも了承いただきました。

来年度に向け、今年度末、学年費で、現1年生は名札(大)の中紙[10円]を、現2～5年生は名札(大)の本体[140円]を購入します。ご理解をお願いします。※なお、現在使用している名札(小)がまだ使える場合、そちらを優先して使ってもかまいません。



来年度は春御のみ購買に置きます。



えっ？教室でそんなに怪我があるの？